



こんにちは、 日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会 5371-9164 自宅 5(FAX 兼用) 6 9 1 - 3 3 2 3

日本共産党京都市議員団 5 2 2 2 - 3 7 2 8 FAX 211-2130 '14年 7月 6日号

市議員団ホームページ <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/cpgkyoto/> E-mail cpgkyoto@mbox.kyoto-inet.or.jp

職員減らしで市民サービス低下

6月23日の市会委員会での井上議員の質問のうち、市税事務所開設、市観光調査結果、の二点について紹介します。

市長が、各区役所の税金業務の大部分を市内一カ所に集め、市税事務所として統合・再編すると言っています。税務行政は、①賦課Ⅱ税金を計算して請求する、②納税Ⅱ税金を徴収する(市民から言えば納税する)、の二つの仕事に大別できま

すが、各区役所での賦課の仕事(烏丸御池)に集中し、区役所には納税だけを残すというものです。職員減らしが目的です。●井上議員↓納税時、区役所で、その額の根拠を知りたくても、賦課担当の部署がなければ相談できない。賦課と納税の場所的機能的分離は、租税法主義(税金の計算方法は法律上の根拠が必要)に抵触する。

●調査結果概要では、①総数と②宿泊客数、③外国人宿泊客数が紹介されているが、本来なら②と併行して日帰り客数を、③と併行して日本人宿泊客数もきちんと書くべきではないか。恣意的だ。○あとのページに書いてある。

●より正確な分析のため冒頭で客観的な全体像を人おられる。●日本の勤労者の「観光権」の拡充を。平和であってこそその観光。政府のキナ臭い動きに批判を。

6月28日、下京区キャンパスプラザにて『原発再稼働を認めない』との福井地方裁判所判決についての報告集会がありました(写真上)。京都地裁への裁判も進行中で、原告募集中です。誰でもなれます。井上議員も原告です。

また翌29日には「原発再稼働するな」と集会・パレードも行われました。



京都への観光客数

(昨年1年間、仕事・買物を含む)

観光客数	5 1 6 2 万人
日帰り	3 8 5 4 万人 (74.7%)
宿泊	1 3 0 8 万人 (25.3%)
日本人	1 1 9 5 万人 (91.4) (23.1)
外国人	1 1 3 万人 (8.6) (2.2)

下2行の%は、左側は宿泊数に対する割合、右側は、全体に対する割合。

観光客が増えるのは嬉しいことだが... 正確で客観的な結果報告を

減が目的ではないか。○それもあがるが、職員の

●専門性を高めるため。●そんな理由はとってつけたもの。現行でも専門性向上は十分可能。市税事務所への統合計画は白紙撤回すべき。

最近の相談から



●急病で緊急入院。会社の健康保険から限度額認定証を送ってもらって何とか高額入院費をしのいだものの、病状長期化で退職、会社の健保証を返上。時同じく転院。無保険での入院が続く。入院

市民意見を募集中

- ▼いじめ防止条例について
- ▼子ども子育て支援新制度について
- ▼まちづくり条例の改正について
- ▼京都市立病院の中期目標について
- ▼洛南新都(油小路通り沿線)計画について

中の為、委任状を書いてもらい、井上議員が、月単位とか二週間以内とか、時間とのたたかいで、市国民健康保険への加入手続きに。合わせて限度額認定証も発行してもらい、大至急、病院へ提出、無事、限度額範囲内の費用で済むことに。それにしても会社の健保の手続きも本人任せだし、病院では看護師さんだけでなく事務員さんもベッドの枕元へ来られます。「早く支払って」。

府市政・府市会報告会

7月11日(金)
午後6時30分~
(於)市バス九条車庫南隣
テルサ東館2階
第二セミナー室
お気軽にご参加下さい